

港湾法（昭和25年法律第218号）第56条の3第1項の規定に基づく届出があったため、同法同条第5項の規定に基づき、次のとおり公示します。

平成30年5月30日

1 届出者の住所、名称及び代表者の氏名

- (1) 住 所 福島県双葉郡大熊町夫沢字北原22
- (2) 名 称 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所
- (3) 代表者の氏名 所長 内田 俊志

2 施設の所在する水域の範囲

福島県双葉郡大熊町大字夫沢地先及び同郡双葉町大字細谷地先大芋沢四等三角点より方位角35度19分の方角1,443mの地点を基点とし、この基点より方位角90度00分の方角193mの地点、同地点より方位角180度00分の方角295mの地点、同地点より方位角168度30分の方角172mの地点、同地点より方位角128度30分の方角468mの地点、同地点より方位角39度02分の方角55mの地点、同地点より方位角107度39分の方角96mの地点、同地点より方位角123度30分の方角82mの地点、同地点より方位角213度30分の方角192mの地点、同地点より方位角235度30分の方角510mの地点、同地点より方位角270度00分の方角150mの地点、同地点より方位角179度29分の方角3mの地点、同地点より方位角242度45分の方角153mの地点、同地点より方位角270度00分の方角34mの地点を順次結ぶ直線と陸域とによって囲まれた水域。

3 当該届出により変更しようとする内容

(1) 施設の種類、規模及び構造

① 水域施設

種類	変更前	変更後
航路	対象船舶 貨物船 総トン数 4,900GT 以下	対象船舶 台船 載貨重量 3,500DWT 以下
	幅員 82m~90m	幅員 80m~90m
	水深 6.5m	水深 4.9m
	延長 121m	延長 60m~65m
泊地	面積 118,458 m <sup>2</sup>	面積 同左
	水深 6.5m	水深 5.6m

② 外郭施設

種類	変更前	変更後
南防波堤	規模	規模
	延長 1,008.663m	延長 同左
	天端高 OP+5.000m~+7.200m	天端高 TP+4.273m~+6.000m

北防波堤	天端巾 4.480m～9.000m	天端巾 同左
	構造 テトラポッド被覆捨石ブロック堤、ガンマエル被覆捨石ブロック堤、鉄筋コンクリートケーソン堤(堤頭部)、ケーソン6函(長15.0m×巾9.5m×高9.0m/1函)	構造 同左
護岸	規模 延長 1,087.307m 天端高 OP+4.200m～+7.000m 天端巾 7.300m～9.000m	規模 延長 同左 天端高 TP+3.473m～+6.273m 天端巾 同左
	構造 テトラポッド被覆捨石ブロック堤、鉄筋コンクリートケーソン堤(堤頭部)、ケーソン4函(長15.0m×巾9.5m×高9.0m/1函)	構造 同左
消波堤	規模 延長 116.000m 天端高 OP+6.500m 天端巾 0.300m	規模 延長 同左 天端高 OP+5.773m 天端巾 同左
	構造 鋼矢板(Ⅲ型)護岸、前面消波護岸(テトラポッド、コンクリート方塊傾斜護岸)	構造 同左
防波堤	規模 延長 124.000m 天端高 OP+3.000m 天端巾 2.500m	規模 延長 同左 天端高 TP+2.273m 天端巾 同左
	構造 中空三角ブロック被覆捨石堤	構造 同左
防波堤	透過防止工規模 延長 515.000m 天端高 OP+2.200m～+4.300m 天端巾 1.500m～2.900m	透過防止工規模 延長 同左 天端高 TP+1.473m～+3.573m 天端巾 同左
	透過防止工構造 H鋼親柱による鋼矢板根固石工、背面防砂シート被覆捨石堤	透過防止工構造 同左

③ 係留施設

種類	変更前	変更後
岸壁	規模	規模

	<p>対象船舶 貨物船 総トン数 4,900GT以下 延長 230.14m (大型船用 190.14m、小型船用 40.0m) 水深 OP-6.50m 構造 タイロッド式鋼矢板（鋼矢板V型）、上面アスファルト舗装（厚10cm）、栈橋式（鋼管杭φ1,200mm・t=14mm、鋼管杭φ1,100mm、t=12mm）、上面コンクリート舗装（厚10cm） 防舷材 ゴム防舷材（型式V型 300H×3,000L） 36基 係船柱 鋳鋼製曲柱 25t 1基 鋳鋼製曲柱 35t 8基 鋳鋼製曲柱 50t 1基 鋳鋼製直柱 50t 1基 係船環（M型φ16mm、D120mm、SUS304） 5基</p>	<p>対象船舶 台船 載貨重量 3,500DWT以下 延長 同左 水深 4.9m（TP-5.60m） 構造 同左</p>
--	--	--

4 水域施設の船舶許容能力及び係留施設の係留能力

(1) 水域施設の船舶許容能力

種類	変更前	変更後
航路	対象船舶 貨物船 総トン数 6,800GT以下	対象船舶 台船 載貨重量 3,500DWT以下
	全長 104m	全長 60m～65m
泊地	型幅（船幅） 18m	型幅（船幅） 20m～24m
	型深（上甲板） 10m	型深（上甲板） 3.0m～9.0m
	入出港吃水 5.7m	入出港吃水 0.5m～2.9m
	対象船舶 貨物船 総トン数 6,800GT以下	対象船舶 台船 載貨重量 3,500DWT以下
	全長 104m	全長 60m～65m
	型幅（船幅） 18m	型幅（船幅） 20m～24m
	型深（上甲板） 10m	型深（上甲板） 3.0m～9.0m
	入出港吃水 5.7m	入出港吃水 0.5m～2.9m
	係留隻数 1隻	係留隻数 同左

(2) 係留施設の係留能力

種類	変更前	変更後
----	-----	-----

係留施設	大型船用 190.14m 区間	大型船用 190.14m 区間
	対象船舶	対象船舶
	貨物船 総トン数 4,900GT 以下	台船 載貨重量 3,500DWT 以下
	全長 100m	全長 60m～65m
	型幅 (船幅) 16.5m	型幅 (船幅) 20m～24m
	型深 (上甲板) 9.4m	型深 (上甲板) 3.0m～9.0m
	入出港吃水 5.7m	満載吃水 2.9m
	係留隻数 1隻	係留隻数 同左
	小型船用 40m 区間	小型船用 40m 区間
	対象船舶	同左
	作業船 総トン数 17GT 級以下	
	全長 12.69m	
	型幅 (船幅) 5.5m	
	船深 1.7m	
満載吃水 1.1m		
係留隻数 2隻		

5 当該届出に係る施設の工事の開始及び完了の予定期日

開始 平成30年5月28日

完了 平成32年7月23日